



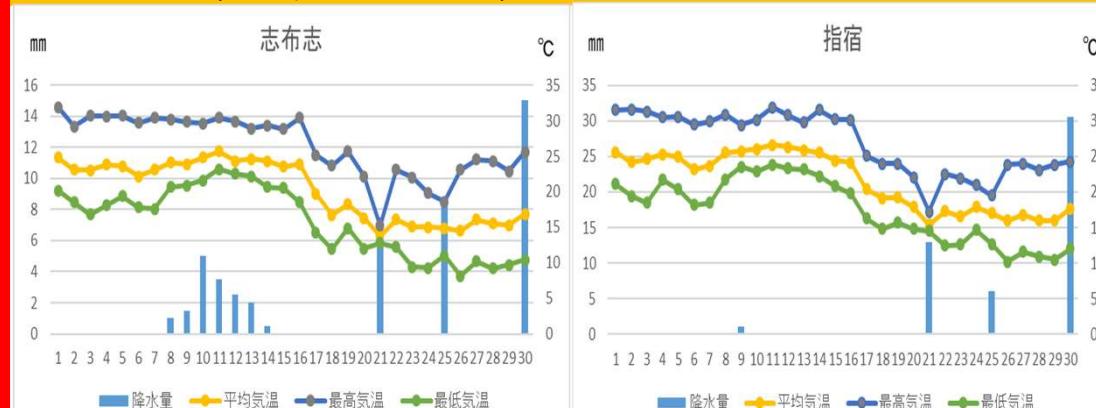
ニチレイアグリ 産地だより

【2020-2021 南九州シーズン/Vol.1 2021.11.4】



【鹿児島県の天候見通し状況】

10/1～10/30までの日毎気象データ (志布志・指宿) 【気象庁HPより】



志布志	①平年	②前年	③本年	差異(③-①)
降水量(mm)	138.8	57.5	47.0	▲ 91.8
平均気温(℃)	19.5	19.5	20.2	0.8
最高気温(℃)	27.5	30.6	31.9	4.4
最低気温(℃)	12.2	7.3	8.1	▲ 4.1
日照時間(h)	173.9	197.2	224.2	50.3
積算温度(℃)	583.8	585.0	606.8	23.0

- 高気圧の影響で晴れた日が多かった為、平年に比べ、日照時間は多くなっていますが、近年の傾向通り寒暖差が大きくみられております。
- 今後も病虫害の発生が予想されますので、病害発生に注視しながらの出荷となります。

【鹿児島県の予測(10/30～11/26)】



- 10/30～11/5 (1週目)
高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間のはじめと終わりに気圧の谷や湿った空気の影響で雨の降る所がある見込み。
- 11/6～11/12 (2週目)
平年同様晴れの日が多い見込み。
- 11/13～11/26 (3～4週目)
天気は数日の周期で変わり、平年同様晴れの日が多い見込み。

● 12月の気候における作物への影響

朝晩の気温が低く、乾燥の影響もあり、作物は全体的に生育が鈍くなっていますので、まとまった降雨が欲しいところです。今後病虫害、予想されますので、病害発生に注視しながらの出荷となります。



● 火山状況

- 桜島
噴火警戒レベル3入山規制が継続中です。現在の所、作物に影響を及ぼす降灰はございません。
- 新燃岳
噴火警戒レベル1、活火山であることに留意となっております。噴火の可能性は低くなっています。

【鹿児島県の産地情報】

《大根》



- 地域：主産地（鹿児島県大隅半島）
- 用途：青果・加工用
- 収穫：11月下旬～5月下旬頃
- 備考：11月下旬頃より、本格的な収穫開始予定です。
現在のところ品質に問題なく、概ね順調な生育となっております。

《白菜》



- 地域：主産地（鹿児島県大隅半島）
- 用途：青果・加工用
- 収穫：11月下旬～2月上旬
- 備考：降雨が少ない状況ですが、生育は順調です。
現在のところ、収穫開始は11月下旬を見込んでおります。

《キャベツ(寒玉)》



- 地域：主産地（鹿児島県薩摩半島）
- 用途：青果・加工用
- 収穫：11月下旬～6月上旬頃
- 備考：降雨が少ない影響で少し生育が遅れている状況です。出荷に向けて内部障害の発生なども懸念される為、今後注視して参ります。

《人参》



- 地域：主産地（鹿児島県薩摩半島）
- 用途：青果・加工用
- 収穫：1月～3月下旬頃迄
- 備考：降雨が少なく欠株が目立つ圃場がありますが、現在のところ大きな影響は無いかと思われます。

《さつまいも》



- 地域：主産地（鹿児島県大隅半島）
- 用途：青果・加工用
- 出荷：周年
- 備考：主力品種は紅はるかです。
サツマイモ基腐病発生の為、収量が激減しており、昨年以上の影響が懸念されます。



《レッドキャベツ》

- 地域：主産地（鹿児島県薩摩半島）
- 用途：青果・加工用
- 収穫：1月～5月
- 備考：生育は概ね順調に進んでおります。
出荷開始は年明けを予定しておりますが、天候次第では若干早くなるかと思われます。現在のところ、特に問題はございません。

【参考資料】

・噴火警戒レベルとは

噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分して発表する指標です。

※ 噴火警戒レベルの判定基準は、それぞれの火山における想定される火山活動に基づいて定めているものです。

火山活動の状況や新たな知見をもとに隨時見直します。

気象庁HPより

噴火警戒レベル

種別	名 称	対象範囲	レベルとキーワード	説明		
				火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法等を判断）。	
			レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて要配慮者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
			レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状況によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。	

・サツマイモ基腐病とは

2018年に沖縄県、鹿児島県、宮崎県においてサツマイモ（かんしょ）の侵入病害「基腐病」の発生が初めて確認された。本病は土壌中および貯蔵中の塊根を腐敗させ生産上甚大な被害を与えております。

【病徴】

はじめ、地際部の茎及び茎に近い部分の塊根が黒色～暗褐色に腐敗します。被害が進行すると、茎の上部及び塊根全体に腐敗が拡がり、乾燥して硬くなり、やがて株が枯死します。

【主な防除対策】

育苗：健全種いもの確保、種イモ消毒、発病イモの除去、苗消毒

本ぼのほ場準備：発病残さの処理、排水対策、土壌消毒

本ぼ：生育初期の発病株除去、薬剤防除

鹿児島県HPより

基腐病の症状

地際の茎が黒変し、茎葉は黄色や紫色に変色し次第にしおれる。茎葉が繁茂する時期には茎が黒～黒褐色に変色し地上部が枯死する。枯死株の塊根は、主に、なり首から腐敗する（図1）。

